



27. 行政マネジメント

(147) 県有施設の耐震整備

(148) 県有資産のファシリティ・マネジメント
(維持、管理、活用)

これまででは

県有施設の耐震工事を順次実施してきました。

耐震化については、順次取組を進めてきており、耐震化率も上昇していますが、一部の施設については、現時点においても耐震性が十分でないものもあります。
(耐震化率 H19 60%→H30 90%)

長期的な視点で県有資産の統廃合・更新・長寿命化を検討してきました。

奈良県の公共施設は、竣工後30年を経過したものが全体の約73%(H31.4時点)、10年後には約92%に達することから、今後、更新・改修・維持管理費用が増大する懸念があります。

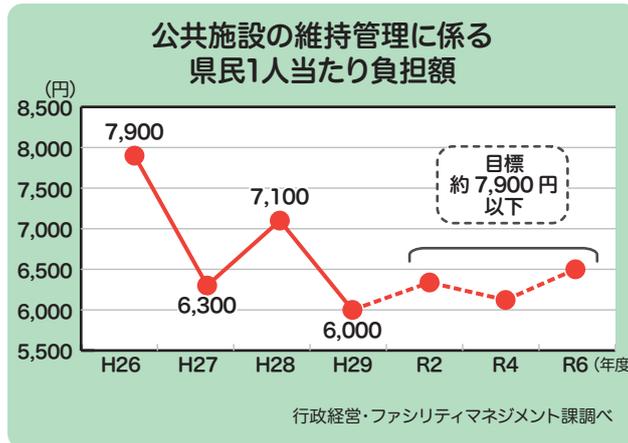
もっと良くするために

- ・ 県有施設の保有総量最適化を目指します。
- ・ 未利用・低利用の県有地や市町村保有地のさらなる有効活用に取り組みます。
- ・ 県有施設の長寿命化・耐震化を計画的に推進します。
- ・ 公共施設等を適正に管理することにより、県民の財政負担を軽減・平準化します。
- ・ 耐震対策については、施設を利用する県民の安全・安心の確保を最優先に考慮しつつ、県民の利便性・快適性の向上に資するよう、「県有施設等耐震検討チーム」において検討します。

目指す姿

令和6年度に公共施設の維持管理に係る県民1人当たりの負担額を約7,900円以下にします。

県の施設の維持管理に係る県民1人当たりの負担額は少しずつ減っているんだね！この先、人口減少が進む中で減らすのは大変じゃないのかな。



そうですね。人口が減ると県民1人当たりの負担額を減らすのは簡単ではないけれど、引き続き計画的に維持修繕を行い、維持管理にかかる費用の削減に努めます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
有県施設の長寿命化・耐震化の推進	県有施設の耐震化		
県有施設の保有総量最適化(1)【五條新庁舎の建設】	五條新庁舎の建設	●工事竣工	運用開始(予定)
県有施設の保有総量最適化(2)【吉野高校校舎の有効活用】	基本計画 先行工事	工事 ●奈良県フォレストアカデミー開校	
県有資産の有効活用【低・未利用資産の活用】	外部の専門家の意見を踏まえ低・未利用資産の活用を検討		